

2016年度・決算書要約

単位：千円

貸借対照表

2017年7月31日

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預金	668,468	共済契約準備金	255,130
その他資産	72,625	その他負債	21,712
		負債合計	276,842
		(純資産の部)	
		出資金	266,270
		利益剰余金	197,981
		純資産計	464,251
資産合計	741,093	負債及び純資産合計	741,093

損 益 計 算 書

2016年8月1日より2017年7月31日まで

剰 余 金 処 分 計 算 書

2017年10月22日

	科 目	金 額
	I 経常収益	
	1 共済引受収益	406,038
	2 教育情報費用繰越金戻入	5,000
	3 資産運用収益	42
	4 その他経常収益	38
	経常収益合計	411,118
経	II 経常費用	
常	1 共済引受費用	
損	共済金	77,158
益	代理店手数料	25,468
の	支払備金繰入額	64,261
部	普通責任準備金繰入額	151,751
	異常危険準備金繰入額	7,176
	計	325,813
	2 一般管理費等	29,441
	経常費用合計	355,255
	経常利益金額	55,863
	税引前当期純利益	55,863
税	法人税等合計額	707
等		
	当期純利益	55,156

I 当期末処分剰余金	
1 当期純利益金額	55,156
2 前期繰越剰余金	12,525
	67,681
II 剰余金処分別	
1 利益準備金	11,100
2 組合積立金	5,600
3 利用分量配当金	46,707
	63,407
III 次期繰越剰余金	4,273

2016年度実績

開業医共済休業保障制度給付率	28.24%
利用分量配当率	18%
ソルベンシー・マージン比率	1,430.3%

※ソルベンシー・マージン比率とは、保険会社等の財務健全性を示す指標で、通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる支払余力をどれだけ有しているかを意味します。行政監督上は、200%を下回ると監督当局によって、早期に経営の健全性の回復を図るための措置がとられます。